

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	ぐろーあっぷから 利用者（子どもさん）一人当たりの㎡数は適切に満たしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	ぐろーあっぷから 職員の配置数は適切に満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	無記入1 ぐろーあっぷから 自己評価はぐろーあっぷは今回から始まりました。保護者様のご意向を把握して業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	無記入1 ぐろーあっぷから 昨年令和6年度より、外部の第三者委員会を改めて立ち上げました。令和7年3月には、業務の改革について話し合いをしました。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	ぐろーあっぷから ミーティング時の情報共有や、外部の研修に参加しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	ぐろーあっぷから 支援プログラムを作成して公表しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		ぐろーあっぷから アセスメントの適切な履行、計画の立案に努めます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		ぐろーあっぷから 管理者と保育士のもと、共通理解して子どもさんの最善の利益を考慮した検討を行っています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		ぐろーあっぷから 計画が職員間に共有されて、計画に沿った支援が行われています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		無記入1 ぐろーあっぷから 管理者と保育士のもと、フォーマル、インフォーマルのアセスメントを行って子どもさんの適応行動の状況を確認しています。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ぐろーあっぷから 今まで本人支援を中心に計画を立案してきました。今後も本人支援が中心になることは変わりませんが、ガイドラインにある「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」も改めて考えながらバランスよく計画を立案していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		無記入1 ズーあっぷから 管理者と保育士で話し合い、プログラムの立案をチームで行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		ズーあっぷから 利用者（子どもさん）の様子を確認しながら、プログラムを柔軟に変更しながら、実施しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		ズーあっぷから 今は小集団ですが、個別活動と集団活動を組み合わせる児童発達支援計画を作成して支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		ズーあっぷから ミーティングを行い、支援の内容や役割分担を確認してチームで連携して支援しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		ズーあっぷから 支援終了後にはミーティングで振り返りを行って情報共有と今後の支援に生かすようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		ズーあっぷから ミーティングの記録、業務日誌で記録をとって支援の検証・改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	ズーあっぷから 計画相談事業所によって開催されるモニタリングで話し合い、支援計画の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		ズーあっぷから 利用者（子どもさん）の状況をよく知っている管理者や保育士がサービス担当者会議や関係機関との会議に参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		ズーあっぷから 日頃 会議などに出席していて、ケース会議など、参加の要請があれば積極的に連携するよう努めています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		無記入1 ズーあっぷから 昨令和6年8月から開所しました。児童発達支援事業は今回初めてで、これから保育所さん等と連携して情報共有して相互理解をはかっていききたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		無記入2 ズーあっぷから 設問26と同じように、学校とも連携していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	1	無記入1 ズーあっぷから まだスーパーバイズは受けていませんが、今年はながさき心の大学の講義を受けており、ズーあっぷの支援に関しての助言を受けたいと思います。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	ぐろーあっぷから 広川町自立支援協議会で、事業所同士の交流の機会について話し合いが持たれています。近くの事業所さんと積極的に交流する機会を願っています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4		ぐろーあっぷから 管理者と保育士で利用者（子どもさん）の状況を話し合っています。保護者様にも伝えて 利用者（子どもさん）の発達状況について共通理解して日々の成長につながるよう努めています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	無記入1 ぐろーあっぷから ご家族に対して家族支援プログラムは、今後積極的に周知していきたいと思います。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		ぐろーあっぷから ご契約の時に運営規定、支援プログラム、利用者負担等について説明するように努めていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		ぐろーあっぷから 利用者（子どもさん）のぐろーあっぷでの普段の様子、保護者の方々の意向に留意しながら、作成するよう努めています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		ぐろーあっぷから 保護者に計画を示しながらご説明をして同意を頂いています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	ぐろーあっぷから 今後、定期的な保護者会、茶話会を行い、保護者の方々がより一層相談しやすい場を作りたいと思います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	無記入1 ぐろーあっぷから 保護者会、茶話会の開催は今後予定して保護者同士の交流の機会の提供に努めます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		無記入1 ぐろーあっぷから 日頃利用者（子どもさん）の状況を把握しています。相談や申し入れについては管理者と保育士で迅速に対応できるようにしています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	ぐろーあっぷから 毎月 広報誌「ひろば」を発行しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		ぐろーあっぷから 引き続き個人情報の取り扱いに留意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		ぐろーあっぷから 今後も保護者との意思疎通に努めます。
非常	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	無記入1 ぐろーあっぷから HIROキッズでは近くの高齢者施設を時々訪問しています。ぐろーあっぷも感染症などのリスクを考慮しながら、交流をお願いしていきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	無記入1 ぐろーあっぷから マニュアルを作成しています。保護者に周知する機会を今後増やしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	1	無記入1 ぐろーあっぷから 業務継続計画（BCP）を作成しています。取り組みは始めたばかりですが、机上訓練からはじめ、職員と話す機会を増やして災害に備えていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		ぐろーあっぷから 契約時に頂いた情報をもとに気をつけています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	ぐろーあっぷから 契約時に確認しています。

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	1	無記入1　ぐろーあっぷから　安全計画を作成しています。設備、施設の危険個所を確認して措置を講じて安全に努めます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	無記入1　ぐろーあっぷから　安全計画を保護者に伝え、保護者との連携に努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		無記入1　ぐろーあっぷから　ヒヤリハット報告書を作成しています。情報を共有して事故の未然防止につなげていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	ぐろーあっぷから　ミーティング時など、虐待防止について考える機会を作っています。利用者（子どもさん）の支援の中で不断の努力を継続していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	無記入1　ぐろーあっぷから　身体拘束適性化委員会で話し合っています。行動制限が必要な利用者（子どもさん）については、支援計画に記載しています。